

集めた署名は本部へ集中！

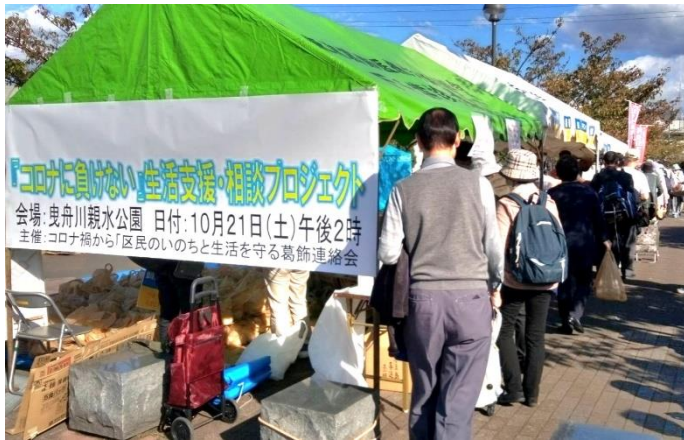
支部・事業所にある署名は手元に置かず本部へ集中してください。

保険証廃止するな！



| | |
|-------------|-------|
| 改憲発議 NO!新署名 | 605 筆 |
| 核兵器禁止条約批准 | 529 筆 |
| 2 割化負担中止 | 485 筆 |
| 健康保険証を残せ | 50 筆 |
| マイナ強制反対 | 232 筆 |

「コロナに負けない生活・相談プロジェクト」 —380 名の方が訪れました—



10月21日に曳舟川親水公園での「コロナに負けない生活・相談プロジェクト」は整理券を配るのは12時ですが10時には150名程が並んでいました。なんと自分たちで番号札を作って並んでいたというのですから驚きです。最終的には380名もの方が訪れました。参加した萩原佐知子さんは「いつもより感謝の言葉をいただきました。みなさん生活大変なんですね。ボランティアの皆さんも慣れてきてスムーズに運んでよかったです」と感想をのべています。参加された皆さんお疲れ様でした。

高齢者大会へ参加を

11月12・13日の日本高齢者大会まで20日を切りました。東京の参加組織が大変遅れています、「ストップ軍拡・かがやけ人権」がサブタイトルです。緊迫した世界情勢や日本の経済・政治情勢などを詳しく学ぶ機会です。それにふさわしい学習講座や分科会が用意されています。是非ご参加ください。

参加費は一日2,500円ですが平和基金から一日当たり1,500円の補助を行います したがって参加者の負担は一日1,000円＋交通費です。

参加される方は入月又は吉野まで申し込んでください。

ガザで活動している「国境なき医師団」の娘さんから母親へ届いたメッセージです

麻衣子です。いつ届かわからないけど、今、10月15日午前10時です。

しばらく出られそうにないけど、ここでがんばります。

ガザの現状はきっとどこにも伝わっていないだろうけど、本当に地獄です。

避難民で溢れ、水もトイレも寝る場所ありません。私たちは外で寝泊まりをしています。現地スタッフが一生懸命探してくれていますが、飲料水を見つけるのも、本当に本当に難しい状態です。何百にんもの人が、ひとつの部屋で寝そべる事もできずに過ごしています。

トイレも何千人に一つしかなく、シャワーも浴びれず、衛生状況は最悪で、すぐに感染症が広まるでしょう。

毛布も取り合いになっています。

この現状はどこにも伝わっていないので、支援も来ません。私たちも、着の身着のまま逃げたので、医療行為もできません。

そんな状況でも、空爆は止まらず本当に本当に大変なことになっています。

この現実をどうかみんなに伝えてください。